

受付番号	7	受付月日	令和7年8月18日 午前11時45分
------	---	------	-----------------------

東郷町議会議員 水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

無会派

議席番号

11

番氏名

加藤 宏明

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3-1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 本町のごみ回収の実態と今後の回収施策について	<p>令和5年7月からプラスチック資源の回収方法が変更になり、資源回収ステーションへの持ち込みから毎週水曜日の集積所回収に移行した。回収方法を変更したことによる費用対効果と本町のごみ回収の実情や問題点について伺う。</p> <p>(1) プラスチック資源回収の費用と今後の回収について</p> <p>ア ステーション持ち込み時での年間費用と現在の地域回収での年間費用の増額（令和4、5、6年度）を伺う。</p> <p>イ プラスチック資源の資源としての収入（令和4、5、6年）を伺う。（袋収入）</p> <p>ウ コロナ禍も過ぎ、費用を考え、プラスチック資源の回収をこのまま続けるのか伺う。</p> <p>エ 金属類、ガラス・陶磁器の年間回収費用（令和5・6年度）について伺う。</p> <p>(2) 資源回収ステーションの現状と今後について</p> <p>ア 住民主体の時代であり、行政依存の時代ではない。そこで、資源回収ステーションの閉館時間の延長（例えば午後8時まで）をする考えはあるか伺う。</p> <p>イ 休耕田を活用し、2か所程度の増設を要望するが見解を伺う。</p> <p>ウ 今の時代、何もかも行政に依存する時代であるが、住民も出来ることをすることは、その地で暮らす住民の責任でもある。行政はその仕組み造りをすべきであるが、当局の見解を伺う。</p>	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2 本町の資金調達・運用の現状と今後の運用方針について</p>	<p>(3) 各地域にあるごみ集積所について ア 本町地内の集合ごみ回収場所は何箇所か、18行政区ごとの箇所数について伺う。 イ その内、民地を利用している箇所はどれほどか伺う。回収場所の申請や変更の手順も伺う。 ウ 戸別回収の戸数は把握しているか。また、その経緯について伺う。 エ 集合ごみ回収場所を行政主体で確保していく必要があると考えるが当局の見解を伺う。 オ 集合ごみ回収箱（ボックス）を本町独自で作成する必要があると考えるが当局の見解を伺う。（カラス・犬対策、美観含め）</p> <p>(4) 本町のごみ回収全般について当局の課題・問題点について伺う。</p> <p>担当が分かれる財政と会計であるが、各担当者は財政全般に関する幅広い知識が必要である。最近金利上昇時であり資金運用における商品選択や利回り向上の交渉術が求められる。本町の現状を伺う。</p> <p>(1) 公債費及び一時借入金及び、資金調達の方法について ア 2025年6月末時点の残高と直近3年間の同月比の対比について伺う。 イ 借入時の資金調達方法（相対交渉や入札方式）や直近3年間の調達金利について伺う。 ウ 資金調達の実質的交渉は、どの課が担うのか伺う。</p> <p>(2) 一般、特別会計の基金の状況、及び、運用方法について ア 2025年6月末時点の残高と直近3年間の同月比の対比について伺う。 イ 運用時の運用方法及び、債権での運用については、どのような規定が適用されるのか伺う。 ウ 基金について預金でなく、債券で運用することのメリット、デメリット、リスクを伺う。 エ 債券運用の2025年6月末時点残高、及</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>び、運用益と運用割合を伺う。</p> <p>オ 相対対応と思料するが、証券会社の言いなりや金利が妥当か、他の自治体はどのように分析されるのかの判断基準について伺う。</p> <p>カ 金利上昇気の現在における見直しや判断基準について伺う。</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。